

第5回三田市環境審議会部会 議事概要

1. 日時

- ・令和4年11月21日（月） 16時00分～17時30分

2. 場所

- ・三田市役所2号庁舎 2201会議室

3. 出席者

【委員】6名

- ・石田 弘明 (委員：環境審議会学識委員) ※部会長
- ・佐山 浩 (委員：環境審議会学識委員)
- ・阪本 浩司 (委員：環境審議会各種団体委員)
- ・森 里美 (委員：環境審議会市民委員)
- ・増原 直樹 (専門委員：地球温暖化対策に関する学識者)
- ・日下部達也 (専門委員：クールチョイスネットワーク会議参画事業者)

【事務局】5名

- ・久高部長 (まちの再生部)
- ・辻下室長 (まちの再生部ゼロカーボンシティ推進室)
- ・赤井課長 (まちの再生部ゼロカーボンシティ推進室環境創造課)
- ・辰巳係長 (同上)
- ・寺寫主任 (同上)

【委託業者】2名

- ・待井 健仁 (アセス株式会社)
- ・坂東 佳典 (同上)

【傍聴者】1名

4. 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議事

「さんだゼロカーボンシティ推進計画」の素案について

- (4) その他
- (5) 閉会

5. 配布資料

資料：さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）

6. 議事内容

事務局	(資料「さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）」に基づき、第1章 基本的事項及び第2章 基本目標について説明)
事務局	(資料「さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）」に基づき、第3章 施策展開について説明)
委員	<p>P12の気象について、地点名を記載しておいた方が良いと思います。また、P28の太陽光発電に関して、県及び市の条例に加えて、国の環境影響評価法でも大規模な太陽光発電は対象となるため、記載しておいた方が良いのではないかと思います。</p> <p>第3章の施策については、太陽光発電の導入や未利用エネルギー等の活用促進、省エネルギー性能の高い高効率機器の導入等、市の率直的な取組を期待したいと思います。今後、新しく建てる公共施設は2050年以降も残っていく施設となるため、早い段階で脱炭素化を実現できるシステムを構築していくことが重要だと思いますので、是非全庁的に取り組んでいただきたいと思います。</p>
事務局	修正部分については、再度内容を確認したうえで対応していきたいと思えます。公共施設への再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策については、現在公共施設マネジメントを進めており、担当部署とも調整をしながら、施設の改修の際には再生可能エネルギーの導入や省エネルギー性能の向上に取り組んでいきたいと考えています。
委員	P11の土地利用について、前回の資料から変更されていますが、宅地を削除した理由を教えてください。
事務局	山林面積が市全体の約65%を占めるということが分かりやすいデータに変更しています。
委員	住宅への太陽光発電を促進するのであれば、宅地が入っている方が良いのではないかと思います。
部会長	どうしても入れられない理由がないのであれば、私も入れておいた方が良いと思います。

事務局	それぞれのデータを一つにまとめるのは難しいため、併記するかたちで分かりやすくなるよう検討したいと思います。
委員	CO ₂ の表記が下付きになっているところと、なっていないところがあるので、統一していただきたいと思います。
部会長	P25の森林吸収量について、2013年度から2018年度に減少している理由や2030年度が2013年度と同じ値になっている理由を教えていただければと思います。
事務局	兵庫県内の樹種や樹齢ごとのデータが整備されていないことから、国全体の森林吸収量を国と三田市の森林面積の比率で按分することで推計しているため、2013年度から2018年度にかけては国全体の傾向が影響しているものと思われます。また、2030年度の森林吸収量については、三田市では里山の保全に力を入れているため、基準年度である2013年度と同程度の森林吸収量を確保していくという理由から2013年度と同程度と設定しています。
部会長	森林吸収量については注釈を入れた方が良くはないかと思います。また、P26の注5について、32,892t-CO ₂ とありますが、正しくは32,893t-CO ₂ だと思います。
事務局	ご指摘のとおり修正します。
委員	P39の省エネリフォームについて、窓に限定して記載しているため、全体的に記載した方が良くはないかと思います。
事務局	ご指摘のとおり修正します。
委員	CO ₂ 排出量や施策の実施状況を毎年度点検・評価していくということで非常に素晴らしいと思いますが、各担当部署に振り分けて点検・評価していくのでしょうか。
事務局	各担当部署が進める施策の実施状況について、責任を持ってとりまとめていきたいと考えています。
委員	今は取組例となっていますが、これから具体的にっていくという理解で良いでしょうか。

事務局	そのように考えています。
委員	公共交通機関の利用促進について、電車やバスを利用できる方は公共交通機関への転換を図っていただき、オール三田でCO ₂ を削減していきたいと思えます。
委員	環境分野でも計画がたくさんあるため、計画名を「さんだゼロカーボンシティ推進計画 2022」等とした方がどの計画が最新の計画か分かりやすいのではないかと思います。
委員	ロゴマークやスローガンはとても分かりやすいと思いますが、ゼロカーボンシティの実現のためには地域で一体となって取り組んでいく必要があるため、今後、市民や事業者に対して周知していき、民間を巻き込んで実行に移していくことが重要になってくると思います。
部会長	民間を巻き込んでいくためには、達成状況を共有していった方が良いと思います。今後、環境審議会に報告した内容を随時ホームページ等に掲載していくのでしょうか。
事務局	そのように考えています。
部会長	環境審議会への報告を市民に理解してもらうことは難しいと考えられるため、分かりやすい情報発信の仕方等を検討していただければと思います。
委員	市民に対して公表するのはどの部分なのでしょう。
事務局	計画全体を公表する予定ですが、特に市民一人ひとりがどのような事に取り組んでいけば良いのかを分かりやすく伝えていく必要があると思います。
委員	市民に公表するのであれば、TJ等には注釈があった方が良いでしょう。
部会長	基本理念「三田市でCO ₂ の排出をみんなと一緒に0にしよう！」についての説明は記載されていませんが、理解していただけるものでしょうか。
事務局	今後、ロゴマークとあわせて分かりやすく伝わるよう工夫していきたいと思っています。

委員	基本理念について、赤文字だと警告を連想するため、赤から緑に変わっていくように色を変更しても良いのではないかと思います。
事務局	検討していきたいと思います。
委員	ごみ拾いはとても大事なものだと思いますが、ゼロカーボンに関係してくるのでしょうか。
事務局	ごみ拾いそのものがゼロカーボンに直接的に繋がるわけではありませんが、ごみ拾いを通じて、ごみを適正に処理することの大切さを市民に理解してもらいたいと思い、掲載しています。
委員	ごみ拾いについては、きれいなまちづくりに取り組んでいくことが大切だということが伝わる文言を追加すれば、話が繋がるのではないかと思います。
事務局	検討します。
部会長	P16のグラフが見つらいため、工夫していただきたいと思います。
事務局	分かりやすくなるよう修正します。
委員	クールチョイスネットワーク会議に参加している事業所等、意欲的な取組を行っている事業所に関しては、今後取り上げていただけると良いと思います。
事務局	この計画が今後のロードマップとなるため、今後、市民に浸透させていけるよう努めていきたいと考えています。また、良い取組を行っている事業者については、今後取り上げていけるよう検討していきたいと考えています。
部会長	三田市の2050年ゼロカーボンシティ宣言の表明内容自体は記載されていませんが、内容の紹介は必要ないでしょうか。
事務局	冒頭の市長あいさつに記載するなど、記載方法については検討したいと思います。
事務局	本日の意見も含めて調整を行い、1月のパブリックコメントを経て、「さんだゼロカーボンシティ推進計画」の策定を予定しています。

以上